



## 手のひらサポート（療養費給付事業） 第2回給付について

3・11甲状腺がん子ども基金は、甲状腺がんと診断された子どもへ対する療養費給付事業「手のひらサポート」の第2回目の審査を行い、1月31日までに新たに18人療養費を給付することを決定しました。

年齢は現在13歳から24歳までで、県別では福島県15人、埼玉県1人、東京都1人、神奈川県1人。10万円の追加給付（計20万円）を受けるRI治療（アイソトープ治療）の適応患者は4人で、福島県内が2人、福島県外が2人でした。

1回目と2回目を合計した支給者数は53人となり、福島県内が41人、福島県外が12人（神奈川県が4人、埼玉県2人、宮城県、群馬県、東京都、千葉県、新潟県、長野県が各1人）となりました。また、RI治療適用者の合計は、福島県内が2人、福島県外が5人の計7人で、県外の給付者の4割がRI治療摘要患者となっています。

### 経過 2017年

1月17日 第2回審査会議 同日給付通知発送

1月30日 第2回給付

### 給付状況

申請数：計18件（男11人：女7人）

給付数：計18件（男11人：女7人）

年齢：13歳～24歳（2017年1月17日現在）原発事故時年齢：6歳～18歳

### 県別の給付状況

福島県15人、埼玉県1人、東京都1人、神奈川県1人、

### RI治療（アイソトープ治療）の適応患者

4人（福島県内2名、県外2名）

### 給付に際する所見

- (1) 福島県民健康調査ではなく、自覚症状があつて受診し、がんが発見されたケースが1例あつた。(健康調査以外での発見は前回3例)
- (2) 福島県外の症例は、3例のうち2例がアイソトープ治療摘要の症例だつた。
- (3) 福島県内で再発例が3例あり、うち1例はアイソトープ治療に移行した。
- (4) 女性より男性の申請者の方が多かつた。
- (5) 福島県内は県外よりも年齢層の低い患者が多かつた。
- (6) 手術後、肩こりや首の痛みを訴える例が複数みられた。(3例)

### 参考

県	宮城	福島	群馬	千葉	埼玉	神奈川	東京	長野	新潟
1回目	1	26 (3*)	1	1	1	3	0	1	1
2回目	0	15 (1*)	0	0	1	1	1	0	0
合計	1	41 (4*)	1	1	2	4	1	1	1

\*福島県民健康調査以外で甲状腺がんが見つかった症例